

校友会活動ビジョン

ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。
応援しよう、個のかかやきを。

行動指針

1. 未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。
2. 多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。
3. 循環型支援の立命文化を創る。
4. グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。
5. 立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。

りつめい No.279/2020年1月号

発行所/立命館大学校友会/年4回発行

発行人/村上健治

編集人/加藤美佐子

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel.075 (813) 8216 Fax.075 (813) 8217

URL:<https://alumni.ritsumeiji.ac.jp>

E-mail:alumni@st.ritsumeiji.ac.jp

ご連絡先の変更はこちらから▶



りつめい

題字・末州 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni

立命館大学校友会

No.279
2020 JANUARY

100th

2019.つなげる校友会、
ひろがる立命館

立命館大学校友会設立100周年記念
オール立命館校友大会 記念式典

かがみもととし 天の明命
見よ わが母校 立命 立命

特集

立命館大学校友会設立100周年記念 オール立命館校友大会

校友会設立 100周年を迎えて

2019年10月19日、100年に1度の祭典を立命館発祥の地、京都にて
2,000名を超える校友・大学の皆さまと無事祝うことができました。
全国から多くの校友の皆さまにご参加いただき、
誠にありがとうございました。

大学と校友会は車の両輪のようなものと私は常々申しておりますが、
こうした関係の原点は、校友会設立当初にまでさかのぼります。
100年前、大学令により立命館が「大学」へ昇格するか、
制度上の「専門学校」として留まるかの岐路に立たされた時、
母校の発展と自らの未来を重ねた先輩たちは
全国各地で活動する卒業生を束ねて校友会を組織し、
進んで大学昇格のための募金集めに奔走しました。
この時の先輩たちの情熱がなければ、
現在の校友会と立命館大学の姿はなかったかもしれません。

その後の立命館は、歴代の理事長・総長の牽引により
全国の大学のフロントランナーとして改革を推し進められるとともに、
学生たちの健闘によって現在の地位へと導かれています。
校友は36万人を超え、国内外問わず幅広い分野で活躍しています。
母校のために立ち上がった先輩たちの熱い想いや
改革を推進された大学指導者の方々の気概を引き継ぎ、
学校と後輩学生の未来発展を温かく見守っていく。
これこそが、校友会に課せられた使命といえるでしょう。

100年という節目は、これまでの100年を振り返り見つめた上で、
これからの100年を後輩たちに託していくための絶好の機会です。

記念すべき年を迎えられた喜びを
校友・大学の皆さまと分かち合うことで一層のきずなを深め、
輝かしい校友会第二世紀と母校のさらなる発展に向けて
大きく踏み出していこうではありませんか。



立命館大学校友会 第十一代会長
村上 健治

校友会活動ビジョン

ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。
応援しよう、個のかがやきを。

行動指針

- 未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。
- 多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。
- 循環型支援の立命文化を創る。
- グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。
- 立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。

撮影：表紙 中尾歓都己 P2 舟田佳代

立命館大学校友会報

りつめい JANUARY 2020
No.279

03 特集 立命館大学校友会設立100周年記念 オール立命館校友大会

02 校友会設立100周年を迎えて

立命館大学校友会
村上健治会長

18 3.11復興への願い／立命館の生涯学習

19 校友会未来人財育成基金

20 校友会ネットワーク

行事報告
今後の行事予定

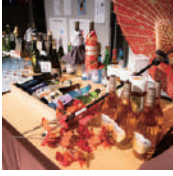
24 学生の活躍

26 キャンパストピックス

28 Road to Tokyo2020

30 INFORMATION 編集室から

掲載内容は、2019年11月時点のものです。
デザイン・ディライツ広告事務所



｜特集｜

立命館大学校友会設立100周年記念

オール立命館 校友大会

2019年10月19日(土)、
立命館大学校友会設立100周年記念
オール立命館校友大会が
国立京都国際会館と
グランドプリンスホテル京都で開催されました。

本大会のテーマは「100年の軌跡と未来への挑戦」。
これまでの100年を振り返るとともに
次の100年、“校友会第2世紀”に向けた
新しい校友会を体感できるイベントを開催しました。

当日は雨天にもかかわらず、
校友・在学生・教職員ら2,000名を超える参加者が集い、
新しい門出を一緒に祝いました。

文：P3-15 高原珠美
撮影：田口葉子、竹下さより、中尾歓都己、舟田佳代



立命館 ミライEXPO

11:30～17:30 | 国立京都国際会館 ニューホール

校友会第2世紀に向けた、未来への挑戦。映像と音楽、テクノロジーが織り成す新しい空間で世代を超えて交流し、世界とつながる校友会大会へ。

12:00～12:30 OPENING STAGE

感覚ピエロ ミュージックライブ

「立命館ミライEXPO」のオープニングステージでは、校友の横山直弘さん（'15理工）がボーカル＆ギターを務めるロックバンド「感覚ピエロ」のミュージックライブが行われました。感覚ピエロは2013年のバンド結成以来、既存の音楽レーベルやマネジメント会社に所属せず、全てメンバーの自主プロデュースで活動してきたインディーズバンド。その独自のスタイルにもかかわらず、「SUMMER SONIC」など多くの音楽フェスへの出演、ドラマ『ゆとりですがなにか』の主題歌や映画とのタイアップに抜てきされるなど活動の幅を広げてきました。11月4日にはバンド史上最大のチャレンジとなる幕張メッセイベントホール（千葉県）でのワンマンライブを開催。そんな「自分たちの音楽」を追求する感覚ピエロは今回、立命館大学とタイアップをした受験生応援ソング“等身大アンバランス”を含む5曲を披露。音に乗せて熱い想いを届けてくれ、会場は世代を超えて盛り上がりしました。

CHECK!

「等身大アンバランス」のミュージックビデオは、大阪・京都と立命館大学びわこ・くさつキャンパスなどで撮影し、校友の映像ディレクター太田タイキさん（'14映像）によって制作されました。

「等身大アンバランス」ミュージックビデオはこちら▶



COMMENT (Vo. & Gt. 横山直弘さん)

今回、初めて僕たちのことを知る方々も多くいらっしやと思います。僕たちの音楽を届けられたことはうれしい限りです。僕は中学・高校・大学と10年間立命館で過ごしてきました。今の活動は授業の中で教わったことが直結しているわけではありません。しかし、立命館の建学の精神「自由と清新」が僕の志そのものです。

音楽で生きていくことを選び、大学4年生時の進路報告書を白紙で提出しました。「自主プロデュース」という音楽業界の常識にとらわれない新しいスタイルで僕たちは走り出し、ここまでできました。僕たちの活動を応援しようと、100周年という記念すべき校友会大会に出演依頼をしてくれる、そんな校友がいる学び舎(や)を卒業できたことを誇りに思います。今回はこのような機会をいただき、本当にありがとうございました。

感覚ピエロメンバー

Vo. & Gt. 横山直弘（'15理工）、Gt. 秋月琢登、Ba. タッキーパイセン、Dr. アキレス健太

SETLIST

10月19日
100周年記念オール立命館
校友会セットリスト

- ♪ ARATA - ANATA
- ♪ ハルカミライ
- ♪ 夜香花
- ♪ 等身大アンバランス
- ♪ 拝啓、いつかの君へ

11:40～11:55 舞style [1]

立命館大学ストリートダンスサークル「舞style」が立命館ミライEXPOのオープニングアクトを務め、約60人のダンサーが、躍動感あるストリートダンスを披露しました。

ロボット「temi」で海外へ中継

コミュニケーションロボット「temi(テミ)」を通して、校友会の様子を海外在住の校友にも発信。アジアを中心に中継接続し、世界中の校友同士が同じ場を共有しました。



映像研究科の
学生による研究紹介 [2]

立命館大学大学院映像研究科 大島登志一研究室の学生がプログラミング学習ができるツールや、ヘッドマウントディスプレイを装着し、箱をのぞき込むことで、よりリアルなCG閲覧体験ができるシステムなど、VR（バーチャルリアリティ）技術の実用を目指した研究の紹介をしました。

フотスポット&
西浦敬信研究室による音の演出

立命館の各キャンパスなどを背景に合成写真が撮れるフотスポットを設置。各フотスポットでは立命館大学情報理工学部 西浦敬信研究室の協力により、指向性をもった超音波スピーカーから校歌やグ

レーター立命のメロディーが局地的に流れる演出が行われました。



日清食品完全栄養食・
世界の出口カレー

立命館の出身である安藤百福さんが創業した日清食品から、足りない栄養素を一食で補うことができる完全栄養食「All-in PASTA」と「All-in NOODLES」をミライ食として提供していただきました。また、APUの学生と立命館生活協同組合が協力し、開発されたタイカレー「世界の出口カレー」も振る舞われました。

15:30～17:30 祝賀会 [3-6]

祝賀会は、イベントホールとニューホールの2会場で同時開催。ニューホールでは、立命館ミライEXPOから引き続き、NHK札幌放送局のキャスター永井華子さん（'15文）が司会を務めました。オープニングはバラエティー番組などで活躍中のクイズ王・クイズ作家の古川洋平さん（'06文）[写真3]からの立命館にまつわるクイズ企画「クイズ王 古川洋平からの

挑戦状」が行われ、景品獲得をかけ、参加者は大いに盛り上がりしました。乾杯の後には、若手校友と学生のコラボレーションによる音楽と映像の演出を楽しみながら、全国の銘酒とビュッフェを満喫。最後に校友会設立100周年応援隊で株式会社ミライロ代表取締役社長の垣内俊哉さん（'12経営）が「豊かな未来社会を一緒につくっていこう」と呼びかけ、閉会しました。[写真6]

祝賀会出演者

- DJ GOSHIMA：五嶋翔一さん（'10情理）
- DJ KAZU：後藤和希さん（経済4）
- VJ NODOGOSHI：西堀歩武さん（'04産社入学）、大谷陽太さん（'19映像）

12:40～13:30 | 国立京都国際会館 ニューホール

立命館ミライEXPO スペシャル対談 行動し続ける大人になろう ～予測できない未来を生きるために～

立命館大学 学長
仲谷 善雄 × 立命館アジア太平洋大学 学長
出口 治明

12:40から13:30の立命館ミライEXPOでは、
立命館大学 仲谷善雄学長と
立命館アジア太平洋大学 出口治明学長による
スペシャル対談が行われ、約200名が参加しました。
この対談では、多彩な人生経験を持つ両学長から
若手をはじめとする全ての校友に向け、
明日への活力となる応援メッセージが贈られました。

仲谷学長（以下、仲谷） 本日の対談のテーマである「行動する」ということについて、いろいろな答え方があると思うのですが、まず「行動」の前には「決断」が要ります。私は大阪大学の人間科学部で心理学を専攻しました。就職活動をしていたとき、指導教員から「研究に興味があるか」と問われました。正直、研究と言われてもピンときませんでしたが、企画職に興味があった私は「面白そうだ」と思い、「興味があります」と2秒で答えました。これが私にとっての大きな転機でした。というのは、後に勤めることになる企業が心理学の素養があり、プログラミングもできて、避難行動シミュレーターを研究する人材を求めているのです。もし、あのと



き「興味はありません」と答えていれば、今ここに座っていないでしょう。チャンスを見逃さず、一瞬で決断し、行動につながったというエピソードです。

出口学長（以下、出口） 「面白そう」という直感はとても大切ですよね。僕が今ここに座っている理由は、「ある大学の学長候補として名前が挙がっているので、インタビューを受けないか」と誘われたことがきっかけでした。それが立命館アジア太平洋大学（APU）の学長選考*だったのですが、博士号が必須ということで僕は選考条件を満たしていませんでした。選ばれるはずはないと思いましたが、「学長候補のインタビューってどんなことを聞かれるのかな」と興味を持って、受けることにしたのです。その結果、今があります。

*2017年、APUは学長を公募。104人の推薦があった中、選考委員によって新学長を決定した。

仲谷 実感として“縁”はその辺に転がっているものではなく、自分が行動をすることによって呼び寄せる、招き寄せることができるものであるように思います。

出口 僕が尊敬している先達の一人にチャールズ・ロバート・ダーウィン（連合王国の自然科学者）がいます。彼が考えていたことはシンプル。将来に何が起こるか分からない。賢さや強さがある人間が生き延びるのではなく、何かが起こった

ときに適応できる人間が生き残れると述べています。僕は歴史が大好きなのですが、歴史を見てもその通り。仲谷先生の言われたように、そのときの出会いや縁に反応して、うまくつながれた人が何事かを成し遂げているように思います。

仲谷 傍から見て、すぐそこまで縁がきているのに、なぜ一歩を踏み出さないのかということがあります。例えば学生の就職活動などで、縁がある道に進まず、別の道に進もうとして「決まらない」と嘆いている。「私が思うに君の適性はこちらの道。一歩踏み出してごらん」と伝えるとうまくいくことも多くありました。

出口 渦中にいるとよく分からないですが、それを乗り越えて、少し離れると物事が見えるようになりますね。僕は学長になって2年弱とまだ短いのですが、大学の役割は学生がしたいことに手を差し伸べる、あるいは背中を押してあげることだと考えています。

仲谷 本当にその通りです。われわれ教員は学生を育てる際に口を出し過ぎているように思います。ある一定のレベルまでは教える必要がありますが、大学生になると意志も篤志もある。そのような学生に対して教員がすべきことは、考えるきっかけを与えるということと、それをさらに大きく育てるような場や環境を整備することです。

PROFILE

立命館大学 学長
仲谷 善雄

年齢	61歳
専門分野	防災情報システム 人工知能（AI）
前職	三菱電機株式会社
出身地	大阪府羽曳野市 世界遺産に認定された 古市古墳群があるところです。
趣味	絵を描くことも大好きでしたので、 美術館をめぐることです。
座右の銘	「逍遙遊」 莊子の言葉で、 「人生を切り開くのは自分自身。 決断し結果には責任を持つ」 と解釈し、卒業する学生に 贈っています。
おすすめの 書籍	埴谷雄高『死霊』

立命館アジア太平洋大学 学長
出口 治明

年齢	71歳
前職	ライフネット生命 保険株式会社 創業者
出身地	三重県美杉村（現・津市） 雲出川上流のほとりです。
趣味	無趣味な人間で、 読書と旅行ぐらいでしょうか。
座右の銘	悔いなし遺産（貯金）なし。 やりたいことは 全てやるのが人生。
おすすめの 書籍	若桑みどり 『クアトロ・ラガッツィ』

出口 僕は異業種からやってきて学長になっていますので、まず学生の声を聞きたいと思い、学長室を出入り自由になっています。これまで200組ほどの学生と話していますが、相談ということで話を聞いてみると、学生たちは多くの場合、自分で答えを見つけているのですね。僕がしていることは、「それでいいからやってみたら。失敗しても命はとられないよ」と背中を押している場合がほとんどです。

仲谷 私は研究室を運営していたのですが、全く同じ状況でした。中にはまれにどうしたらいいのか分からないというものもあり、一緒に考えることもありました。

出口 どちらを選んでいいのか分からないという相談もあり



正しく問えば 答えを導き出せる



ますが、それはおそらくメリット・デメリットが拮抗（きっこう）していて、選びにくい状況ですよね。ということは大して差がないということ。1つ選んでだめだったら、もう1つに乗り換えたらいいい。悩んで時間を費やすくらいだったら、まずどちらかをやってみたらいいよと伝えています。チャレンジしてすることで分かることがたくさんあります。

正しく問う力を身に付ける

仲谷 かつて、私が仕えた最初の上司が言ってくれた言葉ですが、「工学の世界で多くの課題は3日間真剣に考えたらめどが付く。それでめどが付かないことがあれば、それは問い方が間違っている。問い方を変えなさい」。問題によって必要な時間は異なりますが、正しく問えば必ず答えが導き出せますよね。

出口 おっしゃる通りで、質問の仕方によって答えは異なってきます。文部科学省の指導要領では、“探究力”を重視していますが、探究力とはつまり“問いを立てる力”ですね。

仲谷 そうですね。“正しく問う力を付ける”ということ

ね。何をもって“正しい”のかと判断することは難しいですが、それは何度も問うてみて、失敗を繰り返して身に付けていく。あるいは自分の価値観でよい問い方、美しい問い方というものを見つけ出す。そのようなアートの要素も大切だと思っています。

出口 加えて、人のまねをするということも大切ですね。問う力が強い人、いろんな人の問いの立て方や発想の仕方を学ぶということは、考える力の原点になります。いろんな先輩のやり方をまねることで力を付けることができると思います。

仲谷 出口先生は、常々「学びは、人、本、旅から」とおっしゃっていますよね。僕も、本や、新しい刺激、そして人と会ってさまざまな考えに触れることが大切だと思っています。自分が悩んでいるときに、「そんなこと悩んでも意味ないよ」といつてくれる人がいたら、それはとてもよい友達だと思います。

出口 僕自身も友人からの指摘で、目からうろこが落ちた経験がたくさんあります。25年くらい前のことですが、フランスでは働いていない女性より働いている女性の方が子たくさんです。不思議に思ってパリの友人に聞いたら「質問の意味が分からない」と返されました。彼いわく、「働いている女性の方が人生に対して貪欲なのだから、子どももたくさん欲しいと思うことは当たり前じゃないか」というのです。そのころの日本では、仕事と育児は両立できないという常識があり、その前提で質問したのですが、フランスでは両立できる制度が整っていた。日本の頭で考えた問い自体が根本から間違っていた。これは大きな気づきでした。

仲谷 異文化に触れて多様性に気が付く。そこで自分が何を背負っているか認識することができそうですよね。

出口 このような経験を積み重ねて考える力、問いを立てる

力が磨かれたように思います。だから、僕は他の考え方に触れることができる「人、本、旅」が大切だと伝えています。自分一人で考えても大したことは発見できないのです。

若い世代を引っ張るロールモデルに

出口 ところで、僕の同期の中には「最近の若いやつは……」と発言をする仲間もいます。僕はこの言葉が好きではないのですが、仲谷先生はどのように思われますか？

仲谷 私の若いときの方がよっぽどだめですよ（笑）。

出口 僕も不良学生だったことには自信があるのですが（笑）。よく考えてみればこの言葉、若者がだらしない、若者が行動しないということは、われわれ大人がだらしくなくて、行動していないから、それを見て若者もそうなっているのだと思うのです。

少し前ですが、ある大企業の社長が「最近の若い社員はだらしない」と嘆いていました。よく話を聞くと、海外赴任を希望する新入社員がおらず、みな本社で経験を積みたいと言うとのことでした。気になってその会社のホームページで役員のキャリアを調べてみたところ、企画部長や人事部長など本社でキャリアを積んできた人ばかり。新入社員が本社を希望し、海外に出たがらないのも無理ないと思いました。

仲谷 確かに海外に行こうとする学生数は減少傾向で、男子学生が顕著です。これは日本だけの問題ではなく、世界的にその傾向です。おそらく企業に勤める上の世代の方が国内にいて満足し、充足してしまっているから起きているのでしょう。それでは社会が停滞しますよね。学生から就職する際、「大阪と東京の会社ならどちらがいいか。地方と東京の会社ならどちらがよいか」と聞かれて、今はそんな時代ではない、と諭したことがあります。どこにいても、グローバルな

若者は 先輩の姿を見て育つ



視点で物事を考えられるようにならないと今後仕事はできません。大学もグローバルな展開をしていて、先生方も職員も海外に渡って仕事をしているのに、そのような姿を学生が見ているのかが疑問です。もしくは、その姿を私たち大人が学生たちに見せられているのかという問題ですね。

出口 若者は、先輩の姿を見て育つ。先輩が留学をして輝いているから自分も行きたいと思う。必要なのはロールモデルです。

仲谷 今、男女平等参画の実現に力を入れて学園全体で取り組んでいますが、そこにもロールモデルが必要です。理工系大学院の女性進学率が思わしくないのですが、それはロールモデルを見せられていないからだと思っています。中・高校生のときからどのような道へ進めるのかというロールモデルを見せることが必要だと感じています。

出口 私たちは、校友の皆さんに若い世代を引っ張っていけるロールモデルになってほしいと願っています。ぜひよろしくお願いいたします。

国立京都国際会館 ニューホール入り口付近

先輩から後輩へつなぐ想い ～本を贈って新入生にエール～

校友や教職員などが「新入生に読んでほしい本」を2020年春入学の新入生に贈り、学びの動機づけにつなげる循環型支援のブックプロジェクトが2019年9月17日から始動、現時点で400名以上が本企画に賛同・参画しています。これは、校友会活動ビジョンの行動指針「循環型支援の立命文化を創る。」に基づいた100周年記念事業であり、あわせて立命館創始150年・学園創立120周年記念企画の一環でもあります。立命館大学校友会と立命館大学は、立命館学園のR2030学園ビジョン「挑戦をもっと自由に」を本文字で表現し、10月19日、国立京都国際会館でギネス世界記録™を達成しました。次の世代を担う学生へ本を通してメッセージを伝えるとともに、次の100年に向かう校友会の新たな出発を世界へ発信します。2020年春の入学式に向けて、現在も募集を継続しています。皆さまの想いが込められた本を新入生にお送りください。

〈送付先〉※着払いにてお送りください。

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学校友会事務局



ギネス世界記録™について

記録タイトル：「Largest book sentence（本でつくった最大の文章）」
挑戦日：2019年10月19日（土） 挑戦場所：国立京都国際会館 記録数値：3,364冊

11:30～14:00 | 国立京都国際会館 さくら

なつかしの立命館

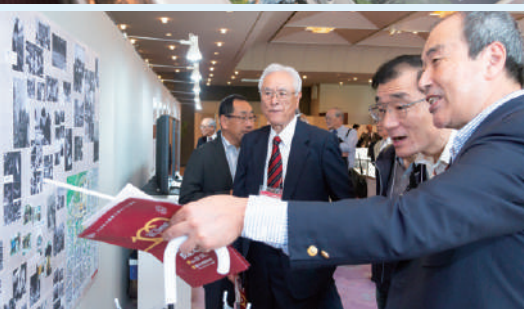
「なつかしの立命館」は、国立京都国際会館さくらで開催。

広小路学舎があった立命館大学の草創期から現在までの貴重な写真や制服、キャンパスの模型など初公開のものを含む84点の展示がありました。

来場した校友は当時の思い出を振り返りながら、懐かしい話に花を咲かせていました。

また、同会場ではプロゴルファーの古市忠夫さん（'63経済）の特別講演が行われ、約200名が参加。

参加者は古市さんの迫力のあるお話に感激し、勇気づけられた様子でした。



〔右下〕校友会設立100周年記念事業特別委員会 仲 治寛副委員長(左)による学園史の解説も行われました



立命館大学に入学し、ボート部に入りました。優雅な競技姿から想像できないほど練習は過酷で、毎日逃げ出したいと思う日々でした。しかし、4回生のときには「砂漠の真ん中に放り出されても絶対に生き残れる力をボート部で得た」と後輩に豪語していたようです。

カメラ店の店主だった私がプロゴルファーになったのは還暦直前の59歳。それから、歩んできた半生が映画化され（『ありがとう』2006年公開）、このような講演を600回以上させてもらっています。これらの奇跡は才能、努力だけで成し得たものではありません。才能、努力と“感謝力”があったからこそ起こったのです。1995年の阪神淡路大震災で被災し、自宅も店舗もお金も失いました。しかし、命だけは失わなかった。生かされていることに感謝し、何事にも「ありがとう」という気持ちで取り組むことで、次々と奇跡が起こっているのです。

私がお伝えしたいことは、「これまでの人生がこれからを決め

る」のではなく、「これからの人生がこれまでを決める」ということ。皆さんも胸

を張って、感謝しながら正直に生きてみませんか。

もうすぐ80歳になりますが、歳を重ねるたびにさらに輝き、奇跡をもっと起こしていきたいと思っています。

PROFILE

古市 忠夫 さん（'63経済）

1995年1月の阪神淡路大震災で被災。自宅から少し離れた場所の車のトランクにあったゴルフクラブは無傷で残っていたことに奇跡を感じ、友人の勧めもあり、プロゴルファーになることを決意。2000年にプロテストに合格。以前から街づくりにも尽力し、プロゴルファーであると同時に“地域住民の1人”であることを心掛けている。



12:40～13:40 |

国立京都国際会館 イベントホール2階

はんなりカフェ

女性校友とその家族の交流を目的としたはんなりカフェがイベントホール2階で開催され、約100名が参加しました。第1部はコミュニケーションスキルプランナーとして活躍中の大倉昌子さん（'01法）が「話すことが楽しくなるミニセミナー」を開催。第2部は第1部で学んだことを生かしながら参加者同士が交流をしました。参加者からは「セミナーで学んだことをすぐ実践し、初対面でも仲良くなった」という声が聞かれ、校友の親睦が深まりました。



12:00～13:30 |

グランドプリンスホテル京都 地下2階プリンスホール

理工系学部・同窓会合同企画

理工系学部・同窓会合同企画『理工系学部の新展開と日本の科学技術の挑戦』が、グランドプリンスホテル京都のプリンスホールで開催され、約200名が参加しました。

冒頭に理工系学部の新展開を紹介。続いて、『JAXA 宇宙科学研究所の太陽系宇宙探査計画～はやぶさ／はやぶさ2 小惑星探査から深宇宙探査船団へ～』と題した記念講演が国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構理事／宇宙科学研究所所長の國中均氏により行われました。講演では、探査機や動力推進の解説、惑星・衛星探査に向けた軌道の紹介、「はやぶさ・はやぶさ2」プロジェクトの概要や成果、宇宙科学と生命科学の協創、今後のプロジェクト構想などについてお話しされました。老若男女、理系文系関わりなく明快で分かりやすく、日本の科学技術に誇りをもち得るもので、いずれの参加者からも大変良かったとの声が聞かれました。



11:00～12:30 |

グランドプリンスホテル京都 地下2階ゴールドルーム

立命館大学経済学部同窓会講演会

立命館大学経済学部同窓会講演会が、グランドプリンスホテル京都のゴールドルームで開催され、約70名が参加しました。今、話題を集める株式会社クロスエフェクト代表取締役の竹田正俊氏（'96経済）による講演で、演題は『ボーダーを超えて挑戦! 京都から世界へ——3D臓器モデル

が変える未来の診断』。講演後はさまざまな質問が相次ぎ、意義深いディスカッションが展開され、参加者の熱意が感じられました。また、展示の3D臓器モデルに触れることで、技術の高さを肌で感じることができる貴重な機会となりました。



14:00～15:00 | 国立京都国際会館 メインホール

記念式典

記念式典が国立京都国際会館のメインホールで開催され、約 1,800 名が参加しました。司会は元 KBS 京都アナウンサーの飛鳥井雅和さん（'64 法）と校友会設立 100 周年応援隊でシンクロスイマーの武田美保さん（'99 産社）が務めました。

式典は学生旗手によって掲げられた 47 都道府県 52 校友会の会旗入場で開式。旗手は約 36,000 人の学生・院生の中から公募によって選ばれ、「グレーター立命」の演奏と参加者の大きな手拍子によって迎えられました。

校歌斉唱後の式辞では、「100 周年という節目を迎え、これからの 100 年を後輩たちに託していくためのまたとない機会である」と村上健治校友会会長が述べました。続いて、学校法人立命館仲谷善雄総長から「校友の皆さまのご活躍そのものが今日の学園の発展につながっていることを強く感じます」と祝辞を賜りました。

校友会設立 100 周年を記念して、校友会の礎をつくり、大学と校友会の発展に尽力された校友会初代会長の畝川鎮夫氏に敬意を表し、ご家族の畝川利之氏へ村上会長から感謝状が贈られました。また、100 周年記念事業の一環として立命館大学校友

会の積立金から 5 億円を立命館大学へ寄付。本式典では村上会長から学校法人立命館森島朋三理事長へ目録が贈呈されました。

最後は 100 周年応援隊の倉木麻衣さん（'05 産社）が、校友会会則の目的を具体化した「校友会活動ビジョン（2018 年 12 月策定）」を宣言する映像が流され、大きな拍手とともに会場は熱気に包まれながら閉式しました。

式次第

全国都道府県校友会 会旗入場
校歌斉唱
校友会会長挨拶
来賓祝辞
初代校友会会長感謝状贈呈
設立 100 周年記念寄付贈呈
校友会活動ビジョン宣言



ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。
応援しよう、個のかがやきを。

行動指針

未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。
多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。
循環型支援の立命文化を創る。
グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。
立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。



茨城県校友会 旗手
篠田 和葉 さん
(薬 6)

今年度、6 年間通った立命館大学を卒業するに当たり、世界中で活躍されている校友の先輩方のように自分も活動の場を広げ、羽ばたいていきたいとの思いから旗手に応募しました。実際に旗を持ってみると想像以上の重量感。それが 100 年にわたり積み重ねてこられた歴史の重みのように感じ、身の引き締まる思いでした。卒業してからも立命館の名に恥じぬような人生を歩み続けていきたいと思ひます。



山口県校友会 旗手
金田 拓真 さん
(文 4)

私は「+R 校友会未来人財育成奨学金」を受給し、学外で出会いと挑戦を繰り広げてきました。校友の皆さまと交流した際の激励が私の活動の原動力であり、感謝をお伝えしたいと考え、旗手に応募しました。旗手を務め、私たち学生は校友の先輩方によって支えられていることを改めて実感するとともに、今後の学生生活や卒業後、校友として自分は何ができるのかを考える貴重な機会になりました。





15:30～17:30 | 国立京都国際会館 イベントホール、ニューホール

祝賀会

祝賀会は、国立京都国際会館のイベントホールとニューホールで開催され、約1,800名が参加しました。（ニューホールの祝賀会の様子は5ページに掲載）

イベントホールの司会は、毎日放送アナウンサーの河田直也さん（'99政策）と第4回世界ジュニア女子相撲選手権大会軽量級優勝者の野崎舞夏星さん（'19スポ健）が務めました。

オープニングは、京都の舞妓さんによるあでやかな祝舞で開

幕。学校法人立命館森島朋三理事長の挨拶に続き、門川大作京都市長（'74法）によって乾杯の音頭が取られました。

終盤には2会場を中継で結び、立命館大学応援団による「グレートー立命」が披露され、熱気が最高潮に。イベントホールの閉会のあいさつは小野守通校友会副会長（'69経営）によって行われ、参加者は次の100周年に向かう門出を共に祝いました。



〔下中央〕2019年プロ野球ドラフト会議で横浜DeNAベイスターズから2位指名を受けた硬式野球部の坂本裕哉選手（文4）〔下右〕人々に感動や影響を与えた世界各国の女性100人を選ぶ、「2019年の女性100人（The BBC's 100 Women of 2019）」に選出された相撲部の今日和選手（国関4）

11:30～17:30 | 国立京都国際会館 メインホール前メインラウンジ、連絡通路

立命館学園×SDGs

立命館SDGsクイズ

立命館SDGsクイズとして、古川洋平さん（'06文）によるSDGs17の目標にまつわるトリビアクイズが行われ、多くの校友が参加し、大盛況でした。



APU校友 国産無農薬バナナ

今大会はAPU校友も出展。NEXTファーム宮崎で栽培された国産無農薬バナナ「NEXT716」が紹介されました。NEXT716は、一般的なバナナに比べ糖度が高く、皮ごと食べられる希少価値の高いエコな果物です。参加者はバナナのおいしさに顔をほころばせていました。

オリンピック・パラリンピックを目指す学生・校友の パネル写真展示

立命館大学校友会は、2019年6月に「オリンピック・パラリンピック出場を目指す学生・校友への立命館大学校友会激励金」制度を新設。激励金支給対象者のパネル写真を国立京都国際会館の本館と別館を結ぶ連絡通路に展示しました。参加者は足を止め、パネルの前で記念撮影をしていました。



18:00～19:30 | 国立京都国際会館 さくら・スワン

R salon

祝賀会終了後の公式二次会としてR salonが国立京都国際会館のさくらとスワンで行われ、約350名が参加しました。会場に全国の銘酒が準備され、グラスを片手に懐かしい再会や新しい出会いを楽しみました。中盤には、国内外で活躍中の三味線プレイヤーの史佳Fumiyoshiさん（'97理工）らによる演奏が行われ、参加者は三味線が生み出す音の優雅さに酔いしれていました。



19:00～21:00 | 京都水族館

R Aqua Night

20～30代の若手校友対象の公式二次会「R Aqua Night」が京都水族館で開かれ、約200名が参加しました。京都水族館を貸し切った開催は、2017年の校友大会から今回で2回目になります。

オープニングの乾杯の後、イルカショーが開催されました。人懐っこく愛くるしさもありながら、迫力のあるジャンプを見せてくれたイルカたちに、会場からは歓声が上がりました。その後、大水槽の前で行われた「共通点探しゲーム」を通して、参加者は親睦を深めました。



東日本大震災復興支援特別委員会による活動報告が行われました

10月19日(土)の100周年記念オール立命館校友大会にて、立命館大学校友会東日本大震災復興支援特別委員会によるパネル展示が実施され、これまでの活動について東日本大震災復興支援特別委員から来場者への説明が行われました。

東日本大震災復興支援事業の主な取り組みである被災地の校友(校友会)と全国の校友(校友会)をつなぐ「場」と「機会」の創出、「復興支援金」の募集推進と配分、「立命館大学校友会東日本大震災予約採用型奨学金」の給付、東北応援ツアーなどが紹介され、活動年表、東北応援ツアー参加者の感想なども展示されました。

また、同スペースにて立命館災害復興支援室の取り組みも紹介され、「学校法人立命館 復興支援の取り組み」、「チャレンジ、ふくしま塾」、「大船渡・盛町七夕まつりサポートプロジェクト2019」と3ブースに分かれて、それぞれ学生から来場者へ説明が行われました。



Rをあなたの学び場に。立命館で再び学びませんか。立命館の生涯学習

立命館アカデミックセンターとは？

立命館アカデミックセンター (academic center of RITSUMEIKAN: 略称ACR) は、年齢・場所を問わずに立命館の学びを体験できる場として2015年に開設されたセンターです。現在は、大阪・東京を中心とした各立命館の拠点での対面型の講座とWEB講座を開講しています。



- 開講中の講座 現在、開講中の講座をご紹介します。詳しくはACRホームページをご覧ください。

講座名	開講期間	会場	概要
おとなの学び舎(冬期)	2020年1月～3月	大阪梅田キャンパス	大学教員や専門家による「おもしろくてためになる」教養講座。歴史・文化・社会・自然科学など、さまざまな講義を受講できます。
漢字教育士資格認定WEB講座	自由(最長2年)	—	漢字の成り立ちから歴史背景まで、漢字の魅力を伝え、体系的に教える力がつく唯一の資格です。(校友割引制度あり)



ACRホームページ

誰でも無料で学べる / 立命館大学オンライン公開講座(MOOC)

受講の概要

インターネットに接続できるパソコンやスマートフォンなどを利用し、無料で視聴、学ぶことができるオンライン公開講座です。1回の視聴は約10分で無理なく学習を継続することができます。修了要件を満たすと、修了証が発行されます。

受講方法

立命館大学ホームページから専用サイトにアクセスし、受講登録を行ってください。

立命館 MOOC 検索

- 講座の受講には、講座配信プラットフォーム「gacco(ガッコ)」の会員登録(無料)が必要です。

主な開講講座

SDGs表現論-プロジェクト・プラグマティズム・ジブンゴト-

本講義は一人一人が「自分ごと」としてSDGsをどう捉えるべきかについて、考える機会を提供します。

講師 立命館大学 生命科学部教授 山中 司
立命館SDGs推進本部
イノベーション・オーガナイザー 上田 隼也



▲受講はこちら



(お問い合わせ) 立命館大学 社会連携課 ☎075-813-8247



循環型支援の文化創りのために ～校友と学生のつながりづくりを推進～

TOPICS
01

+R校友会未来人財育成奨学金(成長支援)受給学生と校友会三役・常任幹事の交流会を開催しました！

9月28日(土)、朱雀キャンパスにて校友会未来人財育成基金を活用した「+R校友会未来人財育成奨学金(成長支援)」の受給者による交流会を開催しました。

第1部は受給者同士の交流を目的に、学生時代に校友会未来人財育成基金から支援を受けた若手校友の林俊之介さん('16スポ健)、森田崇文さん('19理工)からの報告と、受給者同士のグループワークを実施。林さんと森田さんは、奨学金を受給した学生時代の活動と、その経験が社会人としてどのように生かされているかを報告しました。

第2部は、校友会役員(三役・常任幹事)との交流会を実施し、多くの校友が学生と交流しました。学生を代表して大江康太郎さん(総合心理3)、嶋晴菜さん(院スポ

健1)が成果報告を行い、熱のこもった学生のプレゼンテーションに校友と学生の意見交換は一層進みました。



TOPICS
02

+R校友会未来人財育成奨学金(成長支援)受給学生による成果報告を全国各地で実施

立命館大学校友会は、校友会未来人財育成基金で支援している「+R校友会未来人財育成奨学金(成長支援)」 「+R校友会未来人財育成奨学金(海外留学支援)」を受給した学生や院生が各都道府県校友会総会で成果報告をする取り組みを進めています。この取り組みは、校友会未来人財育成基金へのさらなる支援の呼びかけに加え、現役学生・院生と校友がつながるきっかけとして全国へ広がっています。



7月20日の神奈川県校友会 総会で報告をする戸廉隼人さん(生命4)



10月19日の京都校友会 総会で報告をする橋爪夏香さん(院スポ健2)

校友会未来人財育成基金の実績(2019年9月30日時点)

4,008の個人・団体・法人から
235,745,681円

お問い合わせ先(受付時間 土日祝を除く 9:30~17:00)

校友会未来人財育成基金に関しては

立命館大学校友会事務局
075-813-8216

寄付の受け入れ、税制上の優遇措置に関しては

学校法人立命館 総務部 寄付事務局
075-813-8110



行事報告

2019年5月中旬～11月中旬に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<https://alumni.ritsumeiji.jp>

都道府県校友会

7/27 25名
青森県校友会 総会



7/27 74名
徳島県校友会 総会



7/27 70名
愛媛県校友会・松山支部 総会



7/27 60名
福岡県校友会 新卒歓迎パーティー「立門会」



8/3 30名
兵庫県校友会 新人歓迎会 & 異業種交流会



8/3 24名
沖縄県校友会 総会



8/25 130名
岡山県校友会 総会



8/31 53名
福島県校友会 総会



9/7 70名
千葉県校友会 総会



9/7 73名
新潟県校友会 総会



9/7 110名
広島県校友会 総会



9/8 26名
茨城県校友会 総会



9/14 39名
島根県校友会 総会



9/14 54名
熊本県校友会 総会【60周年】



9/18 260名
大阪校友会 総会



9/21 19名
秋田県校友会 総会



10/19 130名
京都校友会 総会



10/26 60名
山口県校友会 総会【60周年】



11/2 33名
宇部小野田校友会 総会



11/9 64名
埼玉県校友会 総会



11/9 117名
兵庫県校友会 総会



11/9 51名
鳥取県東部校友会 総会



11/16 37名
富山県校友会 総会



11/16 310名
愛知県校友会 総会



11/16 16名
鳥取県西部校友会 総会



11/16 180名
福岡県校友会 総会【70周年】



11/16 64名
大分県校友会 総会



11/16 69名
鹿児島県校友会 総会



学部・学系校友会

8/23 150名
建立会 総会



9/21 93名
京都建設会 総会



10/5 50名
奈良建設会 総会



男子・女子陸上競技部の活躍に校友らも応援

立命館大学の男子・女子陸上競技部が各駅伝競技で活躍しています。
その勇姿を応援しようと校友・父母・大学教職員・学生らが駆け付け、立命館大学ののぼりを掲げて沿道から熱い声援を送りました。

男子陸上競技部

- ・2019年10月14日(月・祝)
第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走
- ・2019年11月3日(日・祝)
秩父宮賜杯 第51回全日本大学駅伝対校選手権大会
- ・2019年11月16日(土)
第81回関西学生対校駅伝競走大会(丹後大学駅伝)



[左上] 第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走
[右上] 第81回関西学生対校駅伝競走大会(丹後大学駅伝)
[下] 秩父宮賜杯 第51回全日本大学駅伝対校選手権大会

女子陸上競技部

- ・2019年10月27日(日)
第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)



第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会



10/5 151名
文学部校友会 総会



10/18 40名
愛知県建設会 総会



10/25 36名
岐阜県建設会 総会



地域校友会

9/7 30名
奈良県校友会南和立命会 総会



9/14 30名
奈良県校友会
天理立命会 総会



9/28 50名
大阪いばらき立命会 総会



10/26 60名
高槻島本校友会 総会



11/9 56名
北摂校友会 総会



11/15 43名
京丹後支部校友会 総会



11/16 14名
広島県西部地区校友会 総会



職域校友会

7/27 27名
あわぎん立命会
新入行員歓迎会



8/24 50名
立命館学園会計人会 総会



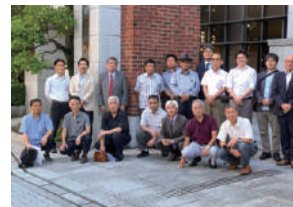
9/3 32名
兵庫県庁清和会 総会



9/6 65名
ひろぎん立命会 総会



9/7 18名
全国行政書士立命会 総会



9/27 30名
立命京滋観光の会 総会



10/11 64名
Rits不動産ネットワーク 総会



学科・ゼミ校友会

8/31 75名
森久会



サークルOB・OG会

6/23 25名
応援団OB・OG洛翠会 総会



8/24 18名
憲法研究会OB会 総会



8/31 7名
立命館大学
新演劇研究部同窓会



9/8 50名
立命館大学軽音部OB会 総会



9/28 70名
ユースホステル研究会
OB会 総会



11/16 22名
証券研究会OB会 総会



附属校

8/31 1,100名
ALL立命館
交流パーティー



10/26 514名
立命館清和会 総会



その他の
校友会グループ

5/16 11名
昭和33年度卒
化学科同期会



9/1 29名
百万遍寮友会



10/29 47名
ロータリー立命会（京都）
例会



11/9 13名
二部衣笠寮校友会
懇親会



TOPICS
北海道・東北ブロックが
初開催

2019年8月31日（土）、郡山ビューホテル（福島県）にて、北海道・東北ブロック会議が初めて開催されました。北海道・東北ブロック8校友会（北海道、東北道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）の代表者、村上健治会長、小野守通副会長、福元真典副会長、林幸雄副会長、新潟県校友会（オブザーバー）の計31名が参集し、今回は福島県校友会がホストを担当しました。会議では、「未来人財育成基金の取り組み」、「北海道・東北ブロックのさらなる交流促進」、「若手会・女子会の活性化」、「次年度以降の開催」の4議題が挙げられ、各校友会の実施報告と活発な意見交換が行われました。



今後の行事予定

2020年2月上旬に
予定されている総会等です（判明分）

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<https://alumni.ritsumeijp>

校友会・グループ	日程	会場	問い合わせ先
東京校友会 総会	2/8（土）13:00～	品川プリンスホテル	東京校友会事務局 （立命館東京キャンパス内） 03-5224-8188

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
077-561-3977

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

男子陸上競技部

「第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走」
過去最高タイの6位入賞

10月14日、鳥根県出雲市で行われた「第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走」で、男子陸上競技部が2時間13分11秒の記録で、過去最高タイとなる6位入賞を果たしました。

男子陸上競技部は、1区の高畑祐樹選手（経済4）が6位で通過。2区の前川紘導選手（法3）が粘りの走りを見せ、10位でたすきをつなぎます。各校エースが集う3区では、今井崇人選手（スポ健4）が順位を1つ上げ、4区のルーキー山田真生選手（経済1）へ。山田選手は区間6位のタイムで順位を7位まで上げる快走を見せました。5区の岡田浩平選手（スポ健3）は、帝京大学と競い合い6区につなぎ、最後は吉岡遼人選手（経済3）が過去最高順位タイとなる6位に順位を上げ、そのままゴールテープを切りました。



前川紘導選手（左）、高畑祐樹選手（右）写真提供：月刊陸上競技

相撲部

英国BBCが選ぶ「2019年の女性100人」に
今日和選手が選ばれました

10月16日、英国の公共放送BBCは、感動や影響を与えた「2019年の女性100人」(The BBC's 100 women of 2019)を発表し、今日和選手（国関4）が選ばれました。

今日和選手のコメント

今回、BBCの「2019年の女性100人」に選んでいただいたことを大変光栄に思います。女子相撲選手の孤独な戦いに焦点を当ててくださったBBCさんにとっても感謝しています。

世界中の子どもたちのためにさまざまな固定観念に対して女子相撲という分野で闘っています。今後もBeyond Bordersという言葉を大切に、何ごとにも限界を決めず、自分らしく頑張っていきます。



今日和選手

硬式野球部

坂本裕哉選手がプロ野球ドラフト会議で
横浜DeNAベイスターズから2位指名

10月17日、2019年プロ野球ドラフト会議が開かれ、硬式野球部の坂本裕哉選手（文4）が横浜DeNAベイスターズから2位指名を受けました。坂本選手は、左投げ左打ちの投手で、2019年度春季リーグ戦 最優秀選手賞・最優秀投手賞・ベストナインに輝くなど高い奪三振率を誇る左腕エースとして活躍しました。坂本選手は、記者会見で、「とてもうれしいですし、ホッとし



坂本裕哉選手

ています」と笑顔で答えました。また、立命館大学の卒業生であり、すでに横浜DeNAベイスターズで活躍する東克樹選手（'18文）について聞かれると、「東さんの存在はとても心強いです。東さんの背中を見て、追いついて、追い抜いていきたい」と話しました。

女子陸上競技部

「第103回日本陸上競技選手権リレー競技大会」
女子リレー種目で2冠達成

10月26・27日、福岡県北九州市の北九州市立本城陸上競技場で「第103回日本陸上競技選手権リレー競技大会」が行われ、女子陸上競技部が4×100mリレーで初優勝、4×400mリレーで大会連覇を果たしました。本大会は、高校・大学・実業団のチームが参加してリレー種目日本一を決める大会です。9月に行われた「天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）」では共に接戦に敗れての2位という結果であり、悔しさをバネに、今シーズン最後のレースを有終の美で飾りました。



左から、田中佑美選手、壺岐あいこ選手、岸本若奈選手、壺岐いちこ選手 写真提供：月刊陸上競技

「第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会」3位
～4年ぶりの優勝ならず～

10月27日、宮城県仙台市で行われた、「第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都駅伝）」で、女子陸上競技部は4年ぶりの優勝を狙いましたが、3位でフィニッシュしました。6区間38.1kmのコースで行われた今大会。全国から26チームが参加し、弘進ゴムアスリートパーク仙台（仙台市陸上競技場）を一齐にスタートしました。1区では16位と苦しいスタートを切りましたが、2区の飛田凜香選手（スポ健1）が区間3位、3区の真部亜樹選手（スポ健4）が区間3位で順位を6位まで上げます。その後、5区の佐藤成葉選手（経済4）が4位に順位を

上げ、6区の高安結衣選手（経済1）が力走を見せ、順位を1つ上げ、3位でゴールしました。



写真提供：月刊陸上競技

アメリカンフットボール部

関西学生アメリカンフットボールリーグで
2年ぶりの優勝

11月10日、万博記念競技場（大阪府）で、アメリカンフットボール部PANTHERSが関西学院大学FIGHTERSと対戦し、18対7で勝利しました。これにより、PANTHERSとFIGHTERSは関西学生リーグで両校優勝となりました。

PANTHERSは、第1クォーターに花岡輝選手（産社4）がフィールドゴールを決めて3点を先制。PANTHERSはその後も優位に試合を進めて、花岡選手がさらに2本のフィールドゴールを決め、9対0で前半を終えました。

後半は、第3クォーターにFIGHTERSの反撃により、一時、リードは2点差となりましたが、立川玄明選手（経済3）がタッチダウンを決めて15対7としました。その後、花岡選手がこの日、4本目となるフィールドゴールを決めて、PANTHERSは18対7で勝利しました。



立川玄明選手 写真：アフロ



日本留学 AWARDS「留学生に勧めたい進学先」 大学院部門（西日本）大賞2年連続受賞

「日本留学 AWARDS 2019」において、立命館大学大学院が西日本地区大学院部門で昨年に続き、3回目となる大賞を受賞。また立命館大学が私立大学理工系部門（西日本地区）と私立大学文科系部門（西日本地区）で入賞しました。「日本留学 AWARDS」は、全国の日本語学校の教職員の方々から本校で学ぶ留学生に勧めたい大学や大学院を選び、表彰するものです。本学の充実した教育内容や学生の満足度、学習面での留学生サポートなどが評価され、受賞につながりました。



学校法人立命館と福島県川俣町が 連携協定を締結

9月7日、学校法人立命館は福島県川俣町と包括的な連携協力協定を締結しました。本協定は立命館学園の復興支援の取り組みと、被災地である川俣町の復興、地域創生に向けた活動から生まれました。立命館学園は、2013年に福島県と協力協定を締結し、被災地との連携を推進しています。今後は産業振興、教育・研究などの振興・発展、人材育成、環境回復、文化・スポーツ・健康・食・エンターテインメントの振興・発展などにおいて川俣町と連携・協力していきます。



佐藤金正川俣町長（左）、仲谷善雄総長（右）

自動運転技術による露地野菜自動収穫の デモンストレーションを実施

9月18・19日、北海道鹿追町で理工学部・深尾隆則教授が代表を務める「露地野菜生産ロボット化コンソーシアム」が、人工知能（AI）を搭載した農業ロボットによる自動収穫・自動運搬の実演会を行いました。当日はドローンを使った農薬自動散布や無人フォークリフトによる荷積み作業、無人の自動収穫機によるキャベツの収穫が披露されました。同コンソーシアムは、農作業の省力化や人手不足の解消に役立てるべく、2023年までの実用化を目指しています。



キャベツの自動収穫の様子

デニ・ムクウェゲ医師 名誉博士号贈呈式・記念講演会を開催

10月7日、立命館大学は衣笠キャンパスで、2018年ノーベル平和賞受賞者のデニ・ムクウェゲ医師に名誉博士号を贈呈しました。冒頭、仲谷善雄学長が「ムクウェゲ医師の活動は、人類の平和と民主主義の進展に貢献したことに加え、本学が掲げる『平和と民主主義』の教学理念とも高い親和性を有しています」と贈呈理由を述べました。贈呈式後には「暴力のない世界の実現と女性の人權～SDGsの視点から」と題し、ムクウェゲ医師による記念講演会が行われました。



仲谷善雄学長（左）、デニ・ムクウェゲ医師（右）

立命館大学分林記念館 竣工式を開催

9月10日、大阪いばらきキャンパスの新たなシンボルとなる国際交流拠点「立命館大学分林記念館」の竣工式を開催しました。当日は関係者約70名が列席。分林記念館をご贈りいただいた株式会社日本M&Aセンターの創業者で代表取締役会長の分林保弘氏（'66経営）に感謝の意を伝えるとともに、竣工にご協力・ご支援いただいた方々への謝意を表しました。森島朋三理事長は「この世界一の施設で、これまでの日本にはない教育を実現したい」と強い決意を述べました。



立命館大学分林記念館 開設記念式典を開催

10月13日、国際交流拠点「立命館大学分林記念館」の開設記念式典を開催しました。来賓・学内関係者ら約300名が出席した式典では、森島朋三理事長が、記念館の開設を契機に一層のグローバル化を推進する決意を述べました。また寄贈者の分林保弘氏（'66経営、株式会社日本M&Aセンター代表取締役会長）からは「分林記念館で育った学生の活躍によって日本、そして世界が良くなることを願う」とのお言葉をいただきました。



分林保弘株式会社日本M&Aセンター代表取締役会長

ギネスワールドレコーズジャパン株式会社との 連携がスタート

10月19日、学校法人立命館は、ギネスワールドレコーズジャパン株式会社と連携し、学生発の「より良い社会の創造」を目指す「MIRAI CHALLENGE PROJECT」を始めるに当たり、構想紹介を行いました。教育機関とこのようなプロジェクトに取り組むのはギネスワールドレコーズジャパンにとっても初めての試みです。仲谷善雄総長は「『世界記録』という目標に向かって学生・生徒・児童が社会的課題を解決し、『より良い社会の創造』にチャレンジしていきます」と述べました。



仲谷善雄総長（左）、石川佳織ギネスワールドレコーズジャパン代表（右）

立命館大学アート・リサーチセンターが 国際共同利用・共同研究拠点に採択

立命館大学アート・リサーチセンター（以下、ARC）は、10月23日、文部科学省「公私立大学を対象とした国際共同利用・共同研究拠点（特色ある国際共同利用・共同研究拠点）」に採択されました。本制度は、国際的に質の高い研究資源を有し、優れた国際協力体制を構築する研究施設を文部科学省が認定するものです。ARCは今後、国内外の学術研究機関の「ハブ」として国際共同研究をけん引することで、わが国の研究力の強化にも寄与することを目指します。



アート・リサーチセンター

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの出場や
メダル獲得を目指す学生・校友アスリートたちの魅力をお届けします！

アーティスティックスイミング 日本代表の乾 友紀子選手^(13 経営)が来校

9月17日、立命館朱雀キャンパスに、アーティスティックスイミング日本代表の乾友紀子選手^(13 経営)が来校し、立命館大学校友会から「オリンピック・パラリンピックを目指す学生・校友への立命館大学校友会激励金」が贈呈されました。

冒頭、乾選手が歩んで来た競技生活や東京オリンピックにかける意気込みについて村上健治立命館大学校友会会長、仲谷善雄総長、水田雅博立命館スポーツフェロー会長らと懇談。これまでにない若手主体で挑む代表チームのエースである乾選手からは、メダル獲得への熱い想いが語られました。

贈呈式終了後、学生アスリートを代表して、陸上競技の壹岐いちこ選手^(スポ健4)、ホッケーの浦田果菜選手^(政策3)、ボートの高野晃帆選手^(スポ健4)を交えた懇談も行われ、競技に取り組む姿勢やモチベーション、メンタル面等について質問があり、乾選手はオリンピック出場経験を交えつつ丁寧

なアドバイスをしました。

激励金贈呈式・懇談会を終え、

乾選手は「村上健治校友会会長、仲谷善雄総長をはじめ、立命館関係者の方々からたくさんのパワーをもらいました。東京オリンピック日本代表選手として、責任と使命を果たし、メダルを獲得できるようにチャレンジしたいと思います」と決意を語りました。東京オリンピックに向け、乾選手のますますの活躍を期待しています。



左から浦田果菜選手、壹岐いちこ選手、乾友紀子選手、高野晃帆選手

乾 友紀子選手

2012年のロンドン五輪はデュエット、チーム共に5位入賞。2016年リオデジャネイロ五輪では共に銅メダルを獲得し、東京五輪も日本代表のエースとして活躍が期待されています。



男子セブンズ 藤井 健太郎選手^(経済2)

スイム・バイク・ランの3種目を一人の競技者が連続して行う耐久競技・トライアスロン。当日の天候やコースによって全く違う展開になり、レース中に繰り上げられる駆け引きも見どころの一つです。「最初は水泳に打ち込んでいたのですが、なかなか結果が出なかったため、走るのが好きだった私は陸上に挑戦したいと考えました。そのとき、両親に『長年続けてきた水泳をやめるのはもったいない。水泳と陸上、どちらもできるトライアスロンをやってみてはどうか』と勧められたのが競技を始めたきっかけです」。そう話すのは、トライアスロン部に所属する中山菜々美選手^(経営2)。競技を始めると、すぐにトライアスロンの魅力に取りつかれたと言う彼女は、2018年に行われた「2018 Hong Kong ASTC Triathlon Junior Asian Championships」のジュニアカテゴリーでアジアNo.1の栄光を獲得しました。「レース展開が毎試合異なるため、誰が勝つかわからない。過酷な競技なので、ゴールしたときの達成感がトライアスロンの最大の魅力だと思います」

しかし、今シーズンはけがにも悩まされ、思うようなレースができず、気持ちと身体のバランスが合わない日々。現在は競技力向上に向け、練習に打ち込んでいるといいます。

「東京オリンピックもちろんですが、2024年、2028年のオリンピックにも出場し、メダル獲得を目指したいですね」

中山選手が世界の舞台へ。これからも挑戦する彼女を応援します。

1 チーム7人でフィールドを駆け回り、ボールをパスし、トライを奪う——。リオデジャネイロオリンピックから正式種目となった7人制ラグビー“セブンズ”は、15人制のラグビーと同じフィールドで、7分ハーフで行われます。15人制ラグビーに比べ展開も早く、よりスピードと持久力が問われます。

ラグビー部に所属する藤井健太郎選手^(経済2)は、U25日本代表として2019年7月にイタリアで開催された「第30回ユニバーシアード夏季競技大会2019」にフォワードのフッカーとして全試合に出場し、初の金メダル獲得に貢献しました。「セブンズは、個人個人が輝ける一方、それぞれの責任も重く、常に緊張感を持たなければなりません。その緊張感が楽しい」と藤井選手はセブンズの魅力を語ります。2018年11月には、日本代表に選出され「HSBCワールドラグビーセブンズシリーズ第1戦ドバイ大会」への出場を果たしました。初めてトップレベルの世界大会を経験し、「自分の力が通用した部分もありましたが、一つのミスや反応を怠ると、失点や負けにつながると痛感しました」と振り返ります。

「これまで、各カテゴリーの日本代表経験を積んできた分、国際大会でメダルを獲得することへの苦労や喜びも両方経験しています。これからも国際大会でメダル獲得を意識したいですね」

藤井選手の活躍で7人制ラグビー“セブンズ”がさらに飛躍することを期待しています。

トライアスロン 中山 菜々美選手^(経営2)



©Satoshi TAKASAKI/JTU

叙勲	
■旭日小綬章 小野英輔氏（'66理工） 元徳山商工会議所会頭	■瑞宝双光章 曾根興則氏（'62法） 元京都市北消防団団長
■旭日双光章 林三弘氏（'63理工） 元舞鶴市議会議員	今井静壹氏（'65法） 保護司
吉村滋太氏（'68文） 京都府銃砲刀剣類登録審査委員	松井忠昭氏（'68法） 元神戸地方法務局姫路支局長
■旭日単光章 大村光俊氏（'68院理工） 藤井寺市農業委員会会長	山岡義昭氏（'69文） 元公立小学校長
■瑞宝中綬章 山口純夫氏（'67法） 甲南大学名誉教授	山脇安三氏（'70産社） 元公立小学校長
小寺薫氏（'71法） 元最高裁判所大法廷首席書記官	八木英光氏（'72経済） 元日本郵政公社職員（特定郵便局長）
■瑞宝小綬章 竹岡忠氏（'71法） 元徳島県西部総合県民局長	松本茂氏（'73産社） 保護司
湯浅光義氏（'72法） 元東大阪税務署長	岸孝明氏（'74文） 元公立高等学校長
和田修氏（'72理工） 元京都市消防正監	林伸幸氏（'77産社） 北央信用組合理事長
平島昭氏（'74法） 元大阪市消防正監	

就任(内定含む)	
大田嘉仁氏（'78経済） 株式会社MTG会長	就任(内定含む)
中村直樹氏（'95経営） 株式会社TKC代表取締役社長	◆岡部修一氏（'75理工）著 『理系の書道家が科学の視点で考えた、誰でも字がうまくなるすごい方法』 KADOKAWA 1,500円＋税
飯塚真規氏（'00文） 株式会社TKC代表取締役社長	◆西山慶司氏（'91経済）著 『ガバナンスと評価6 公共サービスの外部化と「独立行政法人」制度』 晃洋書房 3,200円＋税
市川武彦氏（'58経済） 元三重県校友会会長	◆大熊玄氏（'95文）編 『はじめての大拙 鈴木大拙 自然のままに生きていく 一〇八の言葉』 ディスカヴァー・トゥエンティワン 1,300円＋税
中川祐夫氏（'61院法） 立命館館友、立命館大学校友会顧問	◆小池壮太氏（'00政策）作 『やすみのひ』 ブロンズ新社 1,050円＋税
小倉正紀氏（'64法） 元岐阜県校友会副会長	
志村治美氏 立命館大学名誉教授（法学部）	
江夏弘氏 立命館大学名誉教授（理工学部）	

編集室から

祝！100周年記念オール立命館校友大会。盛大な宴だった。2018年秋の仙台大会に続き、遠方の友との再会。オリンピックイヤーの2020年7月には、ゼミの同窓会。4年に1度の開催で早々に出欠確認の電話がある。あのころのマドンナも年を重ね、憧れの君はもう見る影もなし(笑)。いま、縁あって某新聞社大阪支社に籍を置いているが、わがデスクの前も隣も後輩校友。同じフロアの関連スポーツ紙にも後輩が数名。校友人口密度かなり高し。今年は、韓国取材が3回続いた。日韓関係の政治的な悪化のなか、日韓の若者が発信する友好のツイートは軽々と政治忖度を越えてゆく。校友会広報活動もSNS活用を取り込んで、新展開。校友会100周年は、令和の新時代のスタートの節目を見据えたような巡り合わせだ。

働き方改革が勤め先でも本格的に始まって半年。法律とはいえ、激務といわれるマスコミ業界で改革などできるのかと疑問に思っていました。さすが法律。ちゃんとみんな時間外を減らして働いているので驚きます。仕事が好きで、残業が月100時間超えなんてざらにあって、そんな働き方をしてきたので、仕事量の調整が入った今、仕事とは何かを考える「仕事思春期」になってしまいました。趣味？新規事業？社会人人生で初めて、仕事以外にも打ち込めるものを探すようになりました。思えば、立命館に通っていた学生時代はやりたいことが山のようにあったはず。人生を充実させるべく、この思春期を前向きに捉えたいと思う今日この頃です。

わが大学の校友会も100周年を数えるに至った。企業で2019年に創業100年を迎えたのは、総合商社の住友商事、光学機器のオリンパス、セラミックメーカーの日本ガイシなど日本を代表する企業が並び、100年という伝統の重さを比較してあらためて感じる。100年前の1919年は、第一次世界大戦の後処理が完了した一方で、第二次世界大戦の勃発に向けた火種がくすぶる時代でもあった。2019年創業100周年を迎えた組織はこうした時代に産声を上げ、戦争や焼け野原からの復興、高度経済成長期、バブル経済、平成不況、さらに自然災害などを乗り越えてきた確固たる理念や信念を持つ強い組織である。新たな令和の時代の幕開けにふさわしい、強く未来ある立命館大学校友会に今後も期待したい。

2020年は多くの方にとって節目を感じるタイミングではないでしょうか。これまでの人生を振り返り今後の人生を考える。そうすると自ずと限りある時間を有意義に過ごしたいという感情になるものです。後悔のない人生とはどういうものなのでしょう。お世話になった家族や先輩後輩に感謝を伝える。気心の知れた仲間と喜怒哀楽を共にする。必要としてくれる人の期待に応える。私はこのあたりに収束されます。立命館大学校友会は100周年の節目を迎え2世紀目はどうありたいでしょうか。その答えが校友会活動ビジョンにあります。その実現に取り組む過程で尊敬する先輩や仲間と出会い、私たち自身の人生も豊かになるのではと考えた今日この頃です。

BOOKS FOR BOOKS ～立命館の本活～

2013年4月から2019年9月末までに**6,117名**の方々から**298,768冊**の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。引き続き、校友のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

☺ どのような仕組みですか？

古本を送付 → 古本の集荷・仕分け・買い取り → 図書充実のための費用へ

校友のみなさま → 株式会社バリューストックス → 立命館

●ISBNのない本

●百科事典 ●コンビニコミック ●個人出版の本

●マンガ雑誌 ●一般雑誌

●同一タイトル11点以上 ●シングルCD

●投票券等特典付きCD

☺ 手続きの方法は？

①書籍を段ボール箱に入れる。

②電話(バリューストックス ☎0120-826-292)かWEBで集荷を依頼する。

※お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください。

※5冊以上であれば送料は無料です。

※1回の申込箱数は、3箱までとさせていただきます。

詳しくは **WEB** をご覧ください。

立命館の本活 検索

お問合せ先 学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL：075-813-8110 (平日 9:30～17:00)

お申込みに関してのご注意

買取額は市場価格等を考慮して(株)バリューストックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申込みに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

第128回ミニ企画展示

パネル・写真展

わたしをここからだして

ーオリンピックの「治安対策」の名の下に入管収容所で苦しむクルド難民の現在(いま)ー

2020年の東京五輪に向けた準備が進む中、「治安対策」の名の下にクルド難民など帰国できない事情を抱えた人たちが、次々と入国者収容所などに入れられています。長期収容と帰国の強要によって心身を病む人も多い現状を伝えます。

主催：クルド人難民Mさんを支援する会

共催：立命館大学国際平和ミュージアム

破壊された家屋の前を歩くクルド人住民トルコ東部・ジズレ市にて(撮影 レイフ・デキン)

第129回ミニ企画展示

第24回京都ミュージアムロード参加企画

こんなはずじゃなかった

京都・西陣で地域、医療、老いと向き合ってきた医師・早川一光氏(1924-2018)。本展は戦後日本社会の中で地域医療に尽力し、晩年は自らも病床にありながら老いと死を考え続けた早川氏の姿を紹介した、「こんなはずじゃなかった」(KG+2019 KYOTOGRAPHIE SATELLITE EVENT)をもとに開催します。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

協力：京都新聞

医師早川一光さんの背中(撮影 松村和彦 京都新聞提供)

会 期	開 館 時 間
第128回ミニ企画展示	午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
第129回ミニ企画展示	休 館 日
	日曜日及び、祝日の翌日（日曜日が祝日の場合は開館、翌日が休館）
	※2019年4月より日曜日が休館になりました。
	12/22（日）～1/5（日）は冬季休館
	3/22（日）～3/31（火）は春季休館
	観 覧 料
	一般400円(350円)／中・高生300円(250円)／小学生200円(150円)
	()は20名以上の団体料金／障害者手帳等をお持ちの方(介助者1名を含む)は無料
	※常設展示(地階・2階)は、左記展示期間以外でも見学することができます。
	校友の皆さまは右下の三角券を受付に提示、または校友申請手続きで無料となります。

立命館大学 国際平和ミュージアム
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899 URL▶https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/

BOOKS FOR BOOKS～立命館の本活～申込書

- 1.本申込書記入者（以下、私）は、私が所有する書籍等を株式会社バリューストックスに引き渡し、その売却代金を学校法人立命館が受領することをもって、私からの寄付とするものであることを確認します（現物寄付ではありません）。
- 2.私は、株式会社バリューストックスおよび学校法人立命館に対し、理由を問わず、本件書籍等の返還、および買取相当額の支払いを請求いたしません。
- 3.私は、株式会社バリューストックスと学校法人立命館が、本申込書に記載された氏名等の個人情報を本プロジェクトならびに学校法人立命館の活動目的のためにみ使用することを了承します。

ご記入日	年 月 日	送付段ボール箱数	箱
学校法人立命館 理事長 森島朋三殿			
学校法人立命館の設置する学校の教育および研究の充実のために本物品の売却代金を寄付します。			
フリガナ			
お名前			
生年月日 西暦（ ）年（ ）月（ ）日			
ご住所（〒 - ）			
電話番号			
E-mail @			
寄付目的 立命館学園の図書充実のため			
本学との関係(任意)			
☐ 卒業生 卒業 西暦（ ）年 卒業校・学部（ ）			
☐ 教職員 ☐ 元教職員 ☐ 在校生父母・卒業生父母			
お子様の在籍校・卒業校（ ）			
今後、本学の各種行事等のご案内を差し上げる場合がございます。 ☐ 案内等を希望しない希望されない方は右記にチェックをしてください。			
事務局記載欄	買取価格	円	団体ID 98

立命館大学国際平和ミュージアム
常設展 特別展
校友招待券
(校友1名連入館無料)
校友会「100つめい」
No.279